

親子聖書日課

NO.1738 2022.1/16-22

名前

[日] 良い行いをしたから救われるのではなく、ただ主を信じるだけで救われます。それは神の力がダイナマイトのように、私達の罪を吹き飛ばすからです。福音を恥じてはいけません。むしろ福音を誇るなら、主の救いの喜びを経験できます。

[月] ユダヤ人は律法を得たことに満足し、自分を義としたことで驕り高ぶり、異邦人を裁きました。しかし、彼らの行いは異邦人を変わず、自己中心でした。私達も救われたことに満足してはいけません。日々、悔い改め、神の裁きを逃れましょう。

[火] 奉仕も献金もよくやっているから、良い信者だと思っはいけません。信仰が試される時、常識の範囲から一歩も出ない人がいます。信仰は外見ではなく、中身です。いつも主と繋がり、霊に燃やされ、御言葉に従う人こそ、主に喜ばれます。

[水] いつの世も「正しい人は一人もない」のです。神の前では、誰でも罪人です。罪をもったままでは、平和の道を歩めず、天国に行けません。そこで主が十字架で罪を全て引き受けて下さいました。主を信じるだけで、全ての罪が赦されます。

[木] 良い行いをして、義とは認められません。むしろ、善に熱心な人ほど、神の義にほど遠いのです。アブラハムと同様、ただ主を信じるだけで、義と認められます。それには自分が罪人で、主の赦しなくしては生きられないことに気づくことです。

[金] 「理解できたので、信じます」というのは、信仰ではありません。アブラハムは「希望するすべもなかった時に、尚も望みを抱いて信じた」のです。信仰は経験や知識に頼らず、ただ神の言葉に信頼して、従うことです。絶望は希望に変わります。

[土] 苦難は、とても喜ばませんね。しかし、パウロは「苦難をも誇りとしました。それは、苦難が主の愛を知る機会となるからです。主は私達を救うために、十字架で死なれました。その主の愛を知ることによって、生きる力と勇気が湧いてきます。



	聖書	問題	答え
日	ローマ 1:16-32	福音は信じる者すべてに救いをもたらす何ですか。	
月	2:1-16	神はおのおのの何に従ってお報いになりますか	
火	2:17-3:8	文字ではなく、何によって心に施された割礼こそ割礼なのですか。	
水	3:9-31	正しい人はいますか。	
木	4:1-12	アブラハムは神をどうしたので、それが彼の義と認められましたか。	
金	4:13-25	アブラハムは希望するすべもなくなった時に、何を抱いて信じたか。	
土	5:1-11	聖霊によって、何が私たちの心に注がれていますか。	
感想と祈りの課題			